

製品名: クローディン 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08915**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN8
別名	CLDN8; Claudin-8
遺伝子 ID	9073.0
SwissProt ID	P56748
免疫原	抗血清はヒト CLDN8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

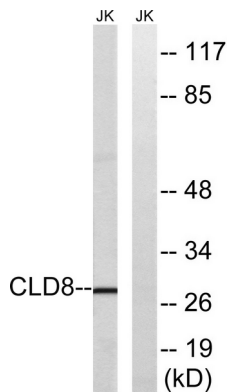
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するの

を防ぐ物理的なバリアとして機能し、細胞極性の維持とシグナル伝達においても重要な役割を果たします。このタンパク質は、遠位尿管の細胞間陽イオンバリア、および遠位結腸におけるナトリウム逆漏出を防ぐ細胞間バリアにおいて重要な役割を果たします。この遺伝子の差次的発現は、大腸癌および腎細胞腫瘍で観察されており、クロードイン-7とともに、好色性腎細胞癌および腎腫瘍の鑑別診断のための免疫組織化学マーカーである。[RefSeq 提供、2010年5月]機能:タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす。類似性:クロードインファミリーに属する。細胞内局在:精巣上体の3つのセグメントすべて、主細胞の側縁にある頭部分、および基底細胞と主細胞の境界にある体部のタイトジャンクションに局在する。サブユニット:TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。組織特異性:精巣上体、主に頭部分に発現する。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



CLDN8抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。